

ふれあいビタミンあいのまち うみ・そら・みどりと共に生きる

広報

まきのはら



8 | 20 日号

2006年(平成18年) vol. 19



特集 ● みんなで考えよう
私たちの榛原総合病院

Photo : 夏夢舞台2006in牧之原
荻間小学校 エイサー

私たちの榛原総合病院

いま、全国で地方医療について多くの課題を抱えています。榛原総合病院もさまざまな課題を抱えていますが、一方で院舎の近代化も完了し、「地域医療の担い手」として新たな期待もされています。今後、私たちの榛原総合病院をどうしていくのか、みんなで考えてみませんか。榛原総合病院を育てていくのは私たち市民です。



榛原総合病院は 私たち市民の病院です

榛原総合病院は、昭和29年に国民健康保険共立榛原病院としてベッド数43床で開院し、昭和52年には、当時の榛原町、相良町、御前崎町、吉田町の4町で榛原総合病院組合を設立し、病院名を榛原総合病院としました。

平成16年には、市町村合併によって御前崎町（現・御前崎市）が榛原総合病院組合から脱退。現在は牧之原市と吉田町の1市1町による組合立病院となっています。

榛原総合病院は、牧之原市や吉田町

が本来行うべき救急医療をはじめ、私たちの生活にとって重要な地域医療を担っています。したがって、市民一人ひとりが、「自分たちが暮らす地域の医療を担う榛原総合病院をどうしたいのか」「身近な場所にある病院をどのように利用すれば、健康面で不安を抱かず暮らしていくのか」など、真剣に考えていかなければなりません。

榛原総合病院の現状

平成8年からの近代化計画（工事）に伴い、入院患者数を中心に一時的に病院利用者が減りましたが、工事が終了しています。



新病院は、各ベッドそれぞれに窓を設置した個室感覚の4床部屋となつておらず、緊急輸送時に対応したヘリポートなども整備されており、東海地震の発生が危惧されているこの地域にあっては心強い施設となっています。しかし、新病棟には500床ベッド数がありますが、このうちの約150床が使用されていません。

現在、これらの活用方法が検討されています。

医師不足への対応

新聞などでも大きく取り上げられましたが、国が進める「新医師臨床研修制度」によって、平成15年から医師の大学病院への引き上げが始まりました。これによって、全国の病院で「医師不足」が起こり、榛原総合病院でも同様に医師が減少しました。

現在、近隣の大きな市立病院でも深刻な医師不足が続いているですが、榛原総合病院では、浜松医科大学などの協力により、なんとか医師数（診療体制）が確保されている現状です。それでも、人口に対する医師数の割合は、静岡県全体では東京などの都会に比べて約半分。この榛南地域では、さらにその半分という非常に厳しい現状となっています。

こういった状況でも、この榛南地域の医療を支えるため、さらに医師の確保を進めたいと考えています。現在、医師数は44人ですが、これを55人にして計画しています。少しでも早くそれが実現するよう、浜松医科大学をはじめ、さまざまな関係機関に継続的に、医師派遣をお願いしています。

「榛原総合病院にいけば、どんな病気やけがでも、必ずなんとかしてくれる」と、市民が安心して診察を受けられる病院づくりを目指しています。

牧之原市の「看護師の卵」 看護への新たな誓い

将来の看護師を目指し、静岡県中部看護専門学校では多くの学生が看護について学んでおり、過去6年間で卒業生29人が榛原総合病院に就職しました。

新たな決意を持って看護師を目指す一つの区切りとして、今年5月12日には、同校で戴帽式が行われました。

牧之原市からも、池田美穂さん（2年生）と杉本沙矢香さん（2年生）がこの戴帽式に臨み、厳粛な式典の中で看護への新たな誓いをしました。



池田美穂さん

看護の象徴であるナースキャップをいただき、新たな気持ちで「またがんばろう」と励みになりました。患者さんの個性を大切にして、優しい気持ちで患者さんと接していると思います。



杉本沙矢香さん

あこがれのナースキャップをいただき感激しています。今の気持ちを忘れずに、国家試験に臨みます。

看護師不足への対応

榛原総合病院には、現在、約240人の看護師（臨時含む）が働いています。毎年、20人から30人の看護師を新規に採用していますが、大半は若い女性のため、結婚や育児などの理由で、毎年、20人から30人の看護師が退職している状況です。そのため、看護師の数は、なかなか増えていない状況です。

看護師を目指している学生の就職先是、全国的に「地元志向」が強くなっています。榛原総合病院では、焼津市にある静岡県中部看護専門学校に運営協力をし、看護師の確保に努めています。つまり、牧之原市と吉田町からの財源（負担金）で賄つてことになります。運営費負担の効果を期待するうえでも、もつとこの榛南地域からの進学者が増えにくことが必要です。

また、榛原総合病院では、保健師、助産師、看護師を目指す方のために、奨学金の貸与を行っています。毎月4万円の奨学金が貸与され、なかには貸与された奨学金の返還が免除される制度もあります。

榛南地域の学生が、静岡県中部看護専門学校などで看護師となり、卒業後には地元の榛原総合病院に戻ってくれることが期待されています。

静岡県中部看護専門学校の運営協力

榛原総合病院の現状と今後を語る

の進路が見えてきます。

「もともと来てもらえる病院」へ

西原市長(以下、市長) 市民の方からこんな手紙をもらいました。「榛原総合病院(以下、榛原病院)で診てもらい幸せです。お医者さんも看護師さんもみんな素晴らしい。全国から見舞いに来た人たちも、「こんないい病院で良かったね」と言つてくれた」という内容です。

茂庭病院長(以下、病院長) うれしいですね、励みになります。患者数も、前年に比べて一日あたり20人ぐらい増え周辺市町からも来てくれています。

市長 牧之原市では、市民の方を交えてコミュニティバスの導入を検討しています。これは交通手段を持たない方のために、バスが市内を巡回するものですが、これをやれば、交通手段がないために榛原病院へ来ることができなかつた人たちが来てくれます。

病院長 ありがとうございます。ぜひ、実現させてください。

医師・看護師の確保

市長 棟原病院の目玉は周産期医療で、「赤ちゃんのことなら静岡県一」です。院長をはじめ、産婦人科のスタッフ、態勢が整っている。これは大きな武器だと思います。これからこの病院運営については。

病院長 医師の確保については、棟原病院に魅力があつて、「医科大学にとって棟原病院は手放せない」というような形にしなければなりません。全国から医師が来てくれるという態勢にしなければ、中長期的には、医師の供給はいつか手詰まりになります。また、看護師も不足しています。病院を運営するにも看護師が必要です。特に、この地域で育った方に看護師になつていただきたい。

市長 そういう意味では保健師もそうで、市では「牧之原市は、市民の健康と福祉のために、そのための人材を求めています。だから、勉強して大学まで

魅力の創出

市長 若い人は都会志向で、医師も看護師も東京に魅力を感じている。牧之原市にそういう魅力を持たせるためには、どういうことが必要でしょうか。

病院長 港、空港、インターネットエンジ、それらをつなげるバイパスも造られて いる。そういう意味では、地理的ハンデはないと思います。ただ、人が集まる施設がない。例えば、空港周辺にモール街があるとか。そういう施設が近くになると、みんなが安心するんですよ。

市長 そうしないと、医師も看護師も集まりにくいですか。

病院長 いえ、実は、亀田総合病院(千葉県)とか佐久厚生病院(長野県)などは、田舎だけど先生たちが集まつてくる

市長 その魅力って何ですか。

病院長 指導力だと思います。ここにいたら自分のやりたい勉強、したいことがすべてできるということです。棟原病院もこれだけ立派な施設が完成したのだからやれないことはない。中長期間的にこの姿を目指して、優秀な医師を全国から集める。そのための努力を惜しむつもりはありません。

それから、医療と福祉は一つで考えていくべきだと思います。

市長 同感です。医療と福祉を合わせてやればコストが下がります。

病院長 これからは、女性が子どもを育てる時代ではなく、地域が育てなければいけない。「病児保育」も必要です。

市長 「病児保育」って、保育園では預行することですね。



樺原総合病院長 茂庭将彦

病院長 そう。今後、榛原病院全体の見直しをしていく時に、現在空いている東館4階を、病児保育の場として使つたらどうかと思つています。

市長 そうすると、周産期医療の次は幼児ですから、そこに病児保育が絡んでくるとこれも大きなポイントですね。あと、現在の一番のご苦労は。

病院長 医療を支える人材の不足です。ありがたいことに、地域の皆さんのご理解で患者さんの数は増えてきていますが、一方で今のスタッフでやれる範囲を超えるところまでけています。

は急性期医療の典型的な科で、絶対必要なものです。これがない状態でいいとは思っていません。ただ、脳の治療の多くが内科的治療なんですね。したがって、内科が充実すると脳神経外科の先生が来やすくなります。近いうちに必ず来ると思いますし、来なければ必ず連れてきます。

市長 浜松医科大学も「必ず何とかします」と言つてくれています。われわれも期待しているし、先生の決意をうかがつて、私もできる限り努力をします。あと、一時期、樺原病院に行つてもほかの病院へ回されてしまうという話がありました。そのあたりはどうですか。

牧之原市民の皆さんへ
市長 皆さんにメッセージ
を。
病院長 私からのお願い
は、榛原病院に不平・不満
があつたら、直接、私たち
の耳に届けていただきたいと
い。私たちが悪かつたこと
気づかなかつたことは、す
ぐに直さなければいけま
せん。皆さんの声を聞いて

A black and white photograph of Shigeo Nishihara, the mayor of Mito. He is shown from the chest up, wearing glasses and a light-colored, vertically striped button-down shirt. He is looking slightly to his right with a faint smile. The background is a blurred view of a city skyline, suggesting he is in an elevated position like a balcony or office window.



牧之原市長 西原茂樹

わがわがた問題の解説

市長 ベッド数500床のうち使われていない150床の利用方針はどのようにお考えですか
病院長 あと50床は絶対必要

となるだけの患者さんはいると思います。残りの100床をどうするのか。元々は長期入院者のためにと計画されました。が、それをどうするべきかを、皆さんに考えていただきたい。

市長 「市民を含むわれわれが」ということですね。あと、脳神経外科の休診問題についてはどうですか。

は急性期医療の典型的な科で絶対必要なものです。これがな
でいいとは思っていません。た
の治療の多くが内科的治療なん

したがって、内科が充実すると脳科の先生が来やすくなります。ちに必ず来ると思ひますし、來

牧之原市民の皆さんへ
市長 皆さんにメッセージ

患者さんがいたら「必ず診てあげなさい

い」と医師などへ指示しました。今年はほかの病院へ回っていたらしく患者さんの数を半分にするため、医師たちがそのための研修計画をしてくれています。市長 調子が悪いと思ったら、熱も測らずに救急外来に飛び込んでくる患者さんがいて、本来、救急を受けるべき患者さんが診療を受けられないという事例があるようですが。

病院長 いろいろ努力した結果、救急外来の患者数は、ピーク時の半分くらいになりました。24時間365日、専門医は病院にいません。当番の先生が必要だと判断すれば、専門の先生を呼びますが、当番の先生で対応できるものはそれで済ませます。そのあたりは、市民の皆さんのが理解し、協力してくれていて感謝しています。

市長 「市民や患者さんがつくる病院」

ということですね。病院は患者のためのもので、みんなが集うこの榛原病院をどう良くしていくか、それはみんなで良くする、市民も経営者として参加することですね。

病院長 そのとおりですね。

市長 患者へ一番良い対応をしてくれる病院が、この榛原病院だと。その感覚でやつていただければと思います。

病院長 絶対そうでなければならぬと思っていました。「榛原病院があつて良かったね」と言われるような病院にしていかないと、われわれも立ち行かないし、牧之原市民も困ってしまいます。

市長 病院管理者として、茂庭病院長と力を合わせてさらに良い病院になるよう努力します。本日は、ありがとうございました。

●問い合わせ 棚原総合病院管理課 ☎(22)1131(代表)

* 1 周産期医療 妊娠満22週から出産後満7日未満までの期間を周産期といいい、この期間は母子とともに異常が発生しやすく、突然的な緊急事態に備えて産科・小児科双方からの一貫した総合的な医療体制が必要であることから、特に周産期医療と表現されている。

第2章 急性期医病

まきのはら 健康カレンダー 9月

各種相談

内容	期日	時間	会場	問い合わせ
消費生活相談	毎週水曜日	9:00~12:00	市役所相良庁舎3階第1会議室	商工観光課商工振興係 ☎(53)2623
	13日㈬、27日㈬	9:00~12:00	市役所棟原庁舎2階第1相談室	
*心配ごと相談	13日㈬	9:00~11:30	老人会館会議室（相良）	社会福祉協議会 ☎(52)3500
	27日㈬	9:00~11:30	老人福祉センター相談室（棟原）	社会福祉協議会 ☎(22)5187
◆法律相談	6日㈬	10:00~15:00	老人会館会議室（相良）	社会福祉協議会 ☎(52)3500
	20日㈬	10:00~15:00	老人福祉センター相談室（棟原）	社会福祉協議会 ☎(22)5187
結婚相談	9日㈭	9:00~11:30	老人会館会議室（相良）	社会福祉協議会 ☎(52)3500
	23日㈭	9:00~11:30	老人福祉センター相談室（棟原）	社会福祉協議会 ☎(22)5187
行政相談	6日㈬	10:00~15:00	老人会館会議室（相良）	社会福祉協議会 ☎(52)3500
	20日㈭	10:00~15:00	老人福祉センター相談室（棟原）	社会福祉協議会 ☎(22)5187
介護相談	11日㈮	9:00~12:00	総合健康福祉センターさざんか相談室	高齢者支援課 ☎(23)0075
	25日㈮	9:00~12:00	健康福祉室（市役所相良庁舎）	健康福祉室 ☎(53)2614
年金相談	11日㈮	10:00~12:00 13:00~15:00	市役所棟原庁舎2階相談室	市民生活室国保年金係 ☎(23)0021
	19日㈬	10:00~12:00 13:00~15:00	市役所相良庁舎3階第1会議室	市民課国保年金係 ☎(53)2603
土曜日の相談	9日㈯、23日㈯	13:30~16:00	相良公民館	相良公民館 ☎(52)1021
人権身の上相談	14日㈭	10:00~12:00 13:00~15:00	市役所相良庁舎3階第1会議室	市民課窓口係 ☎(53)2602

*「心配ごと相談」は、民生委員と司法書士が対応します

◆「法律相談」は、弁護士と行政相談員、人権擁護委員が対応します

こども

講座・健診・相談・接種	期日	時間	会場	対象	持ち物
母子健康手帳の交付（妊婦健康相談）	4日㈪	9:00~11:00	総合健康福祉センターさざんか	妊婦	妊娠届出書
	11日㈪、25日㈪	9:00~11:00	相良保健センター		
パパママおめでた講座	9日㈫	9:30集合	総合健康福祉センターさざんか	妊婦（定期の人の夫）	母子健康手帳、バスタオル
離乳食教室	12日㈬	9:30集合	総合健康福祉センターさざんか	4~12ヶ月児の希望者（要予約）	母子健康手帳
1歳児健康相談	14日㈭	9:00~10:00	相良保健センター	平成17年8月、9月生まれ	アンケート、母子健康手帳
1歳6か月児健診*	21日㈭	9:00~10:00	相良保健センター	平成17年1月、2月生まれ	アンケート、母子健康手帳
2歳児歯科健診	12日㈬	13:00~14:00	相良保健センター	平成16年8月、9月生まれ	アンケート、母子健康手帳
2歳6か月児歯科健診	19日㈬	13:00~14:00	総合健康福祉センターさざんか	平成16年2月、3月生まれ	アンケート、母子健康手帳
3歳児健診*	28日㈮	9:00~10:00	総合健康福祉センターさざんか	平成15年7月、8月生まれ	アンケート、母子健康手帳、尿
3歳6か月児・4歳児歯科相談	20日㈮	9:00~10:00	相良保健センター	平成15年2月、3月生まれ 平成14年8月、9月生まれ	アンケート、母子健康手帳
こども相談	6日㈬	9:00~11:00	総合健康福祉センターさざんか	乳幼児	母子健康手帳
	8日㈮	9:00~11:00	相良保健センター		
のびのび子育て井戸端会議	5日㈫	10:00~11:30	老人会館	入園前の子どもとその親	水筒
	26日㈮	10:00~11:30	総合健康福祉センターさざんか		
三種混合予防接種	14日㈬	13:00~14:00	総合健康福祉センターさざんか	牧之原市母子健康カレンダーをご覧いただき、健康づくり課へお問い合わせください。	母子健康手帳、予診票、体温計
	22日㈭	13:00~14:00	相良保健センター		
BCG予防接種	7日㈮	13:00~14:00	相良保健センター	平成18年5月生まれ	母子健康手帳、予診票、体温計

*1歳6か月児健診と3歳児健診は、満年齢に達しないと受診できません

問い合わせ先 ■のびのび子育て井戸端会議…社会福祉協議会 ☎(52)3500 ■そのほか…健康づくり課健康づくり係 ☎(23)0025

あとな

内容	期日	時間	会場	問い合わせ
総合健康相談・認知症予防相談	5日㈬、19日㈬	9:00~11:00	総合健康福祉センターさざんか	総合健康相談・認知症予防相談とも要予約 健康づくり課健康づくり係 ☎(23)0025
	12日㈭、26日㈭	9:00~11:00	相良保健センター	
エイズ即日検査	7日㈭	18:00~20:00	中部健康福祉センター（藤枝市）	要予約、費用無料、匿名制 中部保健所健康増進課 ☎054(644)9273
	21日㈭	9:00~11:40	中部健康福祉センター（藤枝市）	
精神保健相談・酒害相談	8日㈮	13:30~	中部健康福祉センター（藤枝市）	要予約 中部保健所藤原分庁舎 ☎(22)1151
骨髓ドナー登録会	5日㈬、19日㈬	9:00~11:00	中部健康福祉センター（藤枝市）	対象は20歳~50歳の健康な方、要予約 中部保健所健康増進課 ☎054(644)9273

～各種検診・診査を行っています～

婦人科検診、基本健康診査、基本健康診査（介護予防健診）に申し込みをしている方には個人通知をします。
また、申し込みをしていない方でも、これらの検診・診査を受診できます。詳しくは、健康づくり課へお問い合わせください。 ☎(23)0025

9月の休日当番医

●当番医は、やむを得ず変更することがあります。
事前にご確認ください。
●休日当番医は、急病者などの受け入れを目的としています。通常の診療を目的に来院することはおやめください。

	開業医（棟原・吉田地区）	開業医（相良・御前崎地区）
3日㈰	はいばら泌尿器科クリニック ☎(28)0387	堺口外科医院 ☎(52)5858
10日㈰	半田医院 ☎(32)0193	座光寺医院 ☎(63)3206
17日㈰	石井内科皮膚科医院 ☎(22)0013	サガラ眼科 ☎(53)2222
18日㈪	野村医院 ☎(32)0234	酒井内科医院 ☎(55)1100
23日㈫	高木内科医院 ☎(22)0003	内田医院 ☎(58)0100
24日㈬	小田原産婦人科医院 ☎(32)5773	連美医院 ☎(52)0583

*棟原総合病院の救急外来については、直接お問い合わせください。 ☎(22)1131

「県内首長に対する合併アンケート」について

7月24日の静岡新聞朝刊に掲載された「県内首長に対する合併アンケート」の記事において、「市町長が必要と考える自治体の規模」との質問に、牧之原市だけが「無回答」となっていました。

このアンケートについては、道路特定財源の使途をはじめ多くの項目があり、これらについて文章での記述も含めて回答はしてありました。新聞報道後、回答の控えを確認したところ、前出の項目だけ回答をしていませんでした。悩んだのか、判断に迷ったのか、そのときの状況は思い出せませんが、市民の皆様に疑問を抱かせご迷惑をおかけしたことをお詫びするとともに、このような状況であったことをご理解願います。

なお、無回答であった質問についてですが、私は市の規模がこれまで良いとは思っておりませんので、いくつかの作業にめどが立つ本年度末までは方向性を示していくと考えております。 牧之原市長 西原茂樹

市の人口・世帯数

●人口…50,805人（前月比-25）

[内訳] 男性…24,988人

女性…25,817人

●世帯…15,181（前月比+2）

●外国人口…2,119人

（前月比+15）

[内訳] 男性…1,117人

女性…1,002人

（7月31日現在）

●9月 SEPTEMBER

●陰暦…長月（ながつき）

夜長月を略してながつきといいます

●花曆…みょう

織細な美

●誕生石…サファイヤ、

ラピス・ラズリ

徳望、賢明

●9月の月間

・オゾン層保護対策推進

月間

・知的障害福祉月間

・健康増進普及月間

・緑の募金（秋）

棟原文化センター 来月の催しもの

●棟原地区市立保育園 親子人形劇鑑賞会
・日 時 9月6日㈬ 開演 14:30
・入 場 料 無料
・そのほか 棟原地区の市立保育園に通う園児とその保護者対象ですが、未就園児は子育て支援センターで配布の整理券で入場できます。
・問い合わせ 子育て支援センター ☎(22)0174
●おしゃべりクラシックコンサート
・日 時 9月23日㈬ 開演 18:30
・入 場 料 前売：2,000円 当日：2,500円
*全席自由
・問い合わせ 大石 ☎(32)5680



出席者を前に概要説明を行う平井事務局長

市内の環境負荷軽減に向けて 事業所の取り組みを後押し

『エコアクション21セミナー』

市内事業所に「エコアクション21」を取得してもらい、環境負荷軽減への取り組みを進めてもらおうと、7月27日、市では事業者を対象にした「エコアクション21セミナー」を相良公民館で開催しました。セミナーでは、出席した建設業や製造業など36事業所の社員らを前に、静岡県環境資源協会の平井一之事務局長が「エコアクション21」を取り組むことによる、経費の削減や生産性などの経営的にも効果を上げる」とができます」と説明したほか、今後の認証取得に向けた作業内容やスケジュールなどを説明しました。市では、今後もセミナーを実施し、事業所の認証取得に向けた取り組みを後押ししてまいります。



あ絵かきやプール遊びなどで、園児たちと触れ合う榛高生



園児たちと触れ合い 命の尊さ学ぼう

『榛原高・保育体験学習』

7月24日から8月1日までの期間中、榛原高1年生25人が榛原地区5カ所の市立保育園で保育体験学習を行いました。この体験学習は、園児たちと直接触れ合いつつ命の尊さなどを学んでやらうと総合学習の一環として毎年行われているもので、生徒たちは本の読み聞かせやお絵かき、プール遊びなどを通じて園児たちと触れ合いました。



資料を使って、自分たちのまちを紹介する三戸町の児童

友好都市の小学生同士 夏の思い出と一緒に作ろう

『三戸町・牧之原市小学生交流会』

この交流会は、榛原町の時から続く毎年恒例の事業。初日の歓迎式では、坂部小学校の横井佳織さんが「一緒に良い思い出を作りましょう」と歓迎のことを述べると、三戸小学校の藤村達弘さんじ定愛紗さんは「皆さんの名前を早く覚えたい。私たちの名前も覚えてください」といって、その後、自分のものねじりについて紹介しました。交流会では、海水浴などを楽しめ、来年には牧之原市の児童が三戸町へ出かけて交流を深めます。

牧之原市の友好都市である青森県三戸町の小学6年生児童16人が、7月27日から29日まで牧之原市を訪れ、市内の小学6年生児童32人とさあざまな体験活動を通して交流を深めました。